

(ユニットバス専用換気扇)

ダクト用換気扇〈プラスチックボディタイプ〉

形名	グリル色調	換気タイプ
VD-10ZUC-HT	ホワイト	局所換気タイプ
VD-10ZUC-TK-HT	ブラック	
VD-10ZLUC-HT	ホワイト	24時間換気機能付タイプ

取扱説明書

お客様用

この度はお買い上げいただきありがとうございました。

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。
コントロールスイッチの位置を確認してください。

**お客様自身では取付けないでください。
(安全や機能の確保ができません)**

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
なお、ご使用前に「1.安全のために必ずお守りください」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

1.安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止
	指示に従う		アース確認				

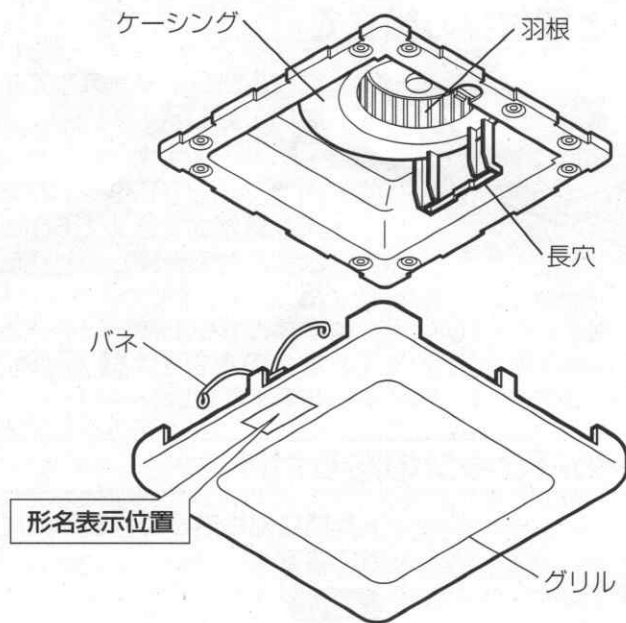
警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を取付けた浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 		指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 			アース確認	<ul style="list-style-type: none"> ●湿気の多い場所で使用する場合は、アースが取付けられているか確認する 故障や漏電のときに感電の原因。 アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 				

注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。 ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 		指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の取付けは確実に行う 落下によりけがの原因。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 		<ul style="list-style-type: none"> ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2.各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。
(グリル・羽根の破損、変質の原因となります)
- 高温(40℃以上)になるところに取付けられていないか確認してください。
(製品の変形やモーターの焼損の原因となります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、グレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因)

3.使用方法

■VD-10ZUC-HT、VD-10ZUC-TK-HT〈局所換気タイプ〉

運転は壁のコントロールスイッチで「運転開始」と「停止」を行います。
入浴後の換気にご使用ください。

お願い

- 24時間換気用として使用しないでください。早期故障の原因となります。

■VD-10ZLUC-HT〈24時間換気機能付タイプ〉

運転は壁のコントロールスイッチで「運転開始」と「停止」及び換気風量切替(強・弱)を行います。

24時間換気を行う場合は、換気風量「弱」に切替えてご使用ください。
居室などの給気口から新鮮な空気を取り入れ、室内全般の空気環境を改善します。
入浴後の換気は「強」をご使用ください。

共通メモ

- 浴室では冬場や湯気の量の多いときなどに、グリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。
また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。
風圧式シャッターは急激なドアの開閉や外風の強い時などにはシャッターの閉じる音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

上手な使いかた

- 入浴後、湯を抜くか、浴槽にフタをして3時間を目安に換気扇を運転し(VD-10ZLUC-HTの場合は「強」運転)、浴室を乾燥させます。
……結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

結露水の排出 このグリルは裏側に結露水が溜まるようになっています。
時々グリルを傾けて結露水を落としてください。

- グリルに両手を掛け少し下へ引き、自分とは反対の方向へ傾けグリルに溜まった結露水を落とす。
- 冬期は週1回を目安とし、シャワーの回数が多いときなどは適宜排水してください。
- 上記作業を行う際は、足元に十分注意してください。

4. お手入れのしかた

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。約3か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る感電・けがの原因。

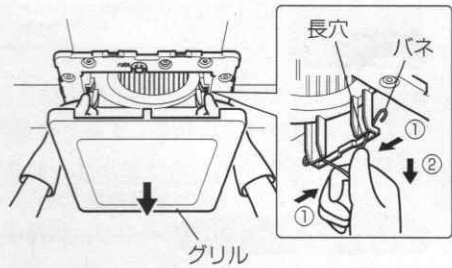
注意

お手入れの際は手袋を着用する着用しないとけがの原因。

- お願い**
- 洗剤などをご使用の場合は台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください。
 - 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従って薄めてご使用ください。
 - 洗剤が残らないようによくふき取ってください。ただし、VD-10ZUC-TK-HT (グリル色調：ブラック) のグリルについては、ふき取る際に強くこすりますと白いふきあとが残ることがあるためご注意ください。
 - 2.各部のなまえの **ご使用にあたってのお願い** に記載の溶剤・洗剤を使用しないでください。

グリルをはずす

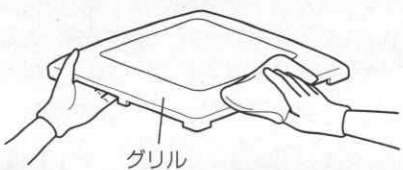
- グリルを両手で少し下げ、バネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- バネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。



- お願い**
- 上記作業をされる際には足元に十分注意してください。

汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。



グリルを取付ける

- お願い**
- グリルを取付ける前に、バネの固定部に割れ・ひびなどの破損がないか確認してください。
 - バネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
 - バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに取付けられます。

5. 故障かな?と思ったら

このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。
(分電盤のブレーカーが切れていたり停電ではありませんか?)
- 換気量が不足する。
(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- 運転中に異常音や振動がする。
(グリルや本体が確実に取付けられていますか?)
(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- グリルがはずれかけている。または傾いている。
(本体に確実に取付けてください)

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

費用については販売店に相談してください。

点検・処置をしても直らないときは

※取付場所によってはダクト配管が長くなったり、曲がり部分が多くなる場合があります。この場合、換気扇への負担が大きくなり、羽根の回転数が上昇して風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

6. アフターサービス

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は 技術料+部品代 (+出張料) などで構成されています。
 - 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用 (出張料) や有料駐車場の費用 (駐車料) を別途いただく場合があります。
- ご連絡いただきたい内容

1. 品名 ダクト用換気扇
2. 形名 VD-0000
3. お買上げ日 ○年 ○月 ○日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

● お買上げの販売店にご依頼できない場合 (転居や贈答品などは、各窓口へお問い合わせください。)

■ お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合せ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法 受付時間365日24時間

三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)

携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)

■ 相談対応 平日 (土・日・祝及び弊社休日以外) 9:00~12:00 13:00~19:00

■ 上記時間帯以外のご相談 (受付のみ) ● 三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル **0120-139-365** (無料)

フリーダイヤルをご利用いただけない場合は TEL (03) 3414-9655 (有料)

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

インターネット <http://www.melco.jp>

携帯電話サイト 空メールの送り先: fc8634@melco.jp
または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

● 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

7. 仕様

形名	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)	
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
VD-10ZUC-HT、VD-10ZUC-TK-HT	8.8	11	85	85	30	30	1.3	
VD-10ZLUC-HT	強運転		8.8	11	85	85	30	1.4
	24時間換気 (弱)		4	4.5	53	53	20	

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件 (右表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。

● 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
● 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■ 標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz		定格周波数による
温度	20℃		JIS C 9603から引用
湿度	65%		
設置条件	標準設置		取付説明書による
負荷条件	定格負荷		「7仕様」による

■ 想定時間

1年間の使用時間	換気時間 (h)
台所	2410時間/年
居室	2193時間/年
トイレ	2614時間/年
浴室	1671時間/年

注) 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- (モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損などがある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ	形名	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
サービス依頼されるとき便利です。	お買上げ年月日	年	月	日	
	お買上げ店名 (住所)				
	(電話番号)				

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

〔ユニットバス専用換気扇〕

ダクト用換気扇〈プラスチックボディタイプ〉

形名	グリル色調	換気タイプ
VD-10ZUC-HT	ホワイト	局所換気タイプ
VD-10ZUC-TK-HT	ブラック	
VD-10ZLUC-HT	ホワイト	24時間換気機能付タイプ

取付説明書

販売店・工事店様用

取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

- 取付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、ユニットバスの天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは「三菱換気送風機総合カタログ」などから別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

1. 安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		感電注意
	指示に従う		アース確認				

警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を取付けた浴室には取付けない 排気ガスが浴室に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●浴室にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。
	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。 ●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。
	指示に従う
	アース確認

注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない。 火災の原因。 ●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には取付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には取付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	指示に従う
	<ul style="list-style-type: none"> ●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 取付け前のお願い

注意

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には取付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には取付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

取付けにあたって

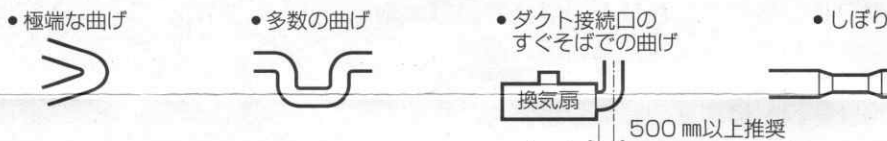
- プラスチックボディタイプダクト用換気扇及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには取付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉や硫黄などの腐食性成分を含む場所には取付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに取付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 台所のような油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には取付けないでください。早期故障（グリルなどプラスチック部品の破損、モーターの故障など）や火災、漏電（感電）、腐食（落下）の原因となります。
- 可燃性ガスのある場所には取付けないでください。火災の原因となります。
- 本体とダクトは必ず断熱空間内に設置してください。断熱材が電線接続部に接触すると吸湿し、漏電する場合があります。
- 電気接続部に断熱材が接触しないように取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

取付位置

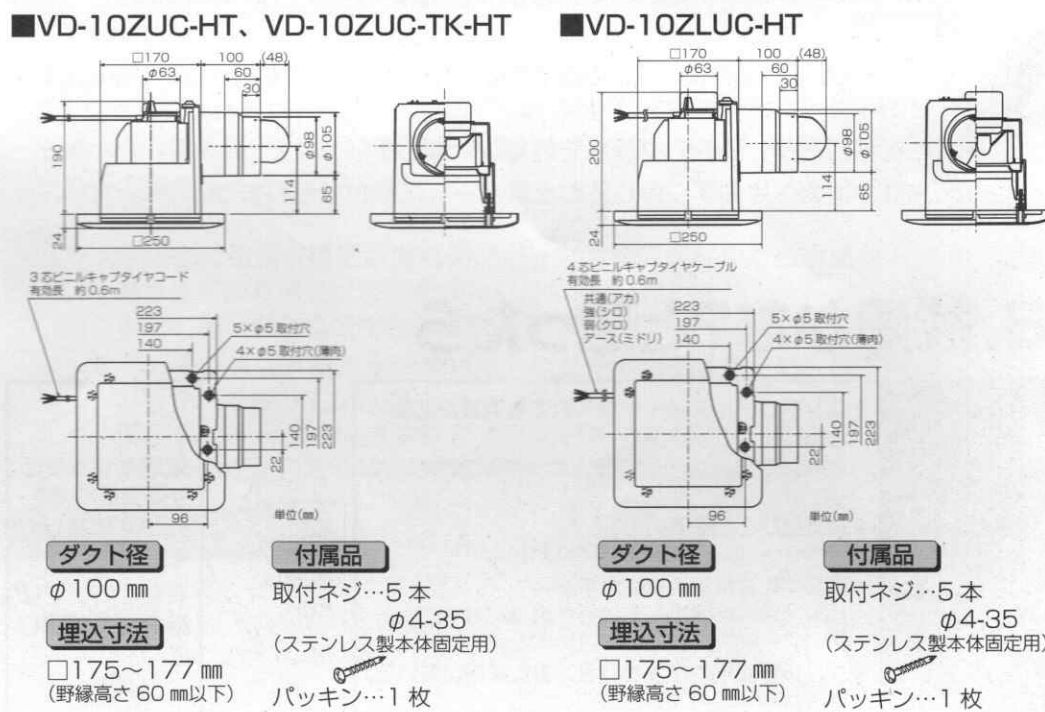
- グリルから水滴が落ちて不快感にならない位置に取付けてください。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と室内の壁面が100mm以上離れる位置に製品を取付けてください。

天井・ダクト工事

- 本体を取付ける室内に本体の電源電線及びダクトのテーピングが届く位置に保守点検口を必ず設けてください。（本体を取付けた後では、電気工事ができません）
- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。



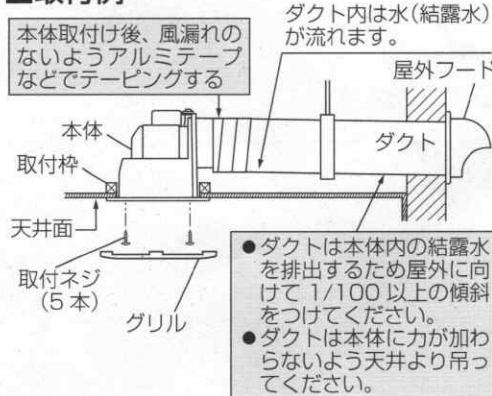
3. 外形寸法図



4. 取付方法 **お願い** ●本体フランジが天井材の下になるように取付けてください。

1. ダクト工事

取付例

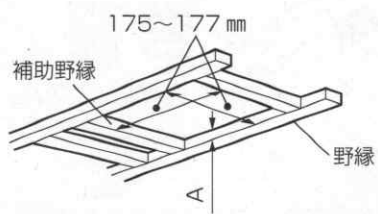


- (1) 壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管する。
●排気ダクトは結露水の戻りによるグリルからの滴下や、雨水の浸入を防ぐため屋外へ向けて1/100~1/50の下り勾配をつける。（本製品はドレン水を排気口より排出する構造です）
- (2) ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るす。

お願い

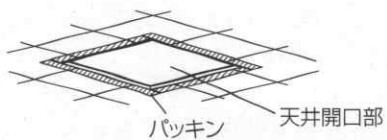
- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないようにしてください。

2 天井材の開口と取付枠の組立て



- (1) グリルから水滴が落ちて不愉快にならない位置に天井材を□175~177mmで開口する。
- (2) 内寸を上記□175~177mm、高さAを天井材厚さを含めて60mm以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。
 - 本体とダクト接続口を一体で取付ける場合のA寸法は「4 本体の取付け①」を確認してください。

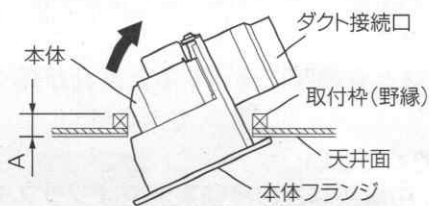
3 天井開口部へのパッキンの貼り付け



天井開口部に沿って付属品のパッキンを四方に貼る

- お願い**
- 付属のパッキンは天井開口部に合わせて、切ってご使用ください。

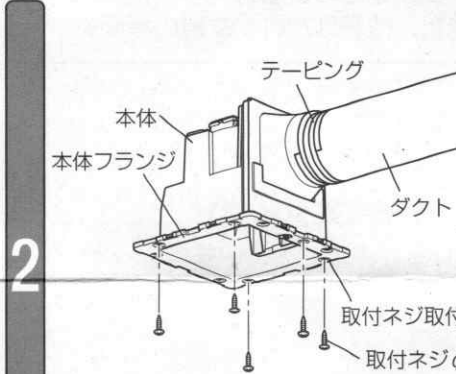
4 本体の取付け① (VD-10ZUC-HT、VD-10ZUC-TK-HTの取付けでA寸法が40mm以下の場合)



※A寸法は天井厚さと野縁高さの合計です。

本体とダクト接続口を一体で取付け可能ですが、本体を天井開口部に挿入する

- お願い**
- 羽根を持って本体の取付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

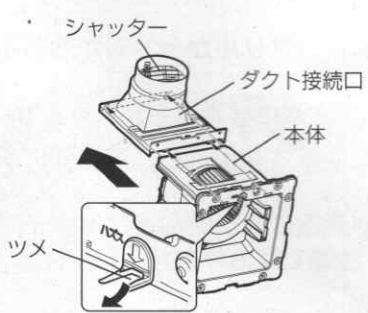


本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の取付ネジ5本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

- お願い**
- 本体を天井に取付ける際は、取付ネジ取付穴から天井面を覗き、天井開口部から十分距離をとった位置に取付ネジで本体を取付けてください。天井開口部近くで取付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

4 本体の取付け② (本体とダクト接続口を分離して取付ける場合)



ダクト接続口の取りはずし

- (1) 本体よりダクト接続口を取りはずす。
 - 本体内側のツメを矢印の方向に押さえながらダクト接続口を取りはずします。

ダクト接続口の固定

- (1) ダクト接続口を左下図のように、天井開口部に取付ネジ(1本)で固定する。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

本体の固定

- (1) 本体の吐出口をダクト接続口と密着させて本体を天井開口部に挿入する。
 - 上部はダクト接続口の角穴に本体上部のツメを、下部は本体下部の角穴にダクト接続口の突起部を「パチン」と音がするまではめ込みます。
- (2) 本体を固定する。
 - 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の取付ネジ(4本)で本体をすき間のないよう確実に固定します。

- お願い**
- 本体を天井に取付ける際は、取付ネジ取付穴から天井面を覗き、天井開口部から十分距離をとった位置に取付ネジで本体を取付けてください。天井開口部近くで取付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

5 電気工事

■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。

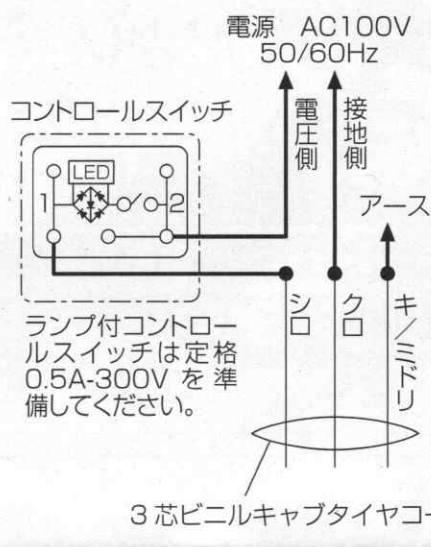
警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
- アースを確実に取付ける
故障や漏電のときに感電の原因。

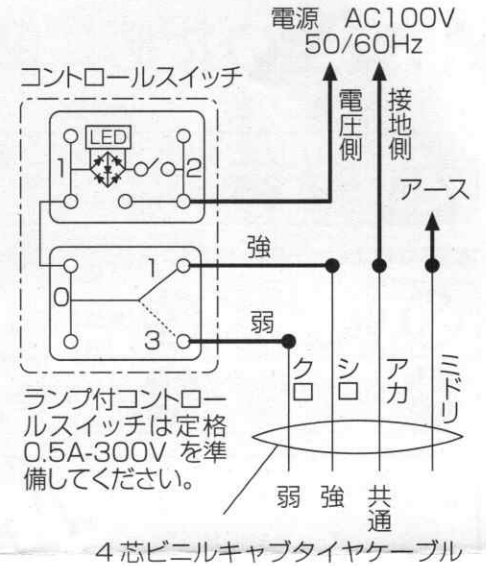
1. 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はおお客様のご負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
2. VD-10ZLUC-HTの場合、取付・点検・修理時に電線の皮むき部に手を触れないでください。コンデンサの帯電により感電するおそれがあります。
3. 電源電線は接続部に力が加わらないようにたるみをもたせ、本体・モーターに触れないように配線してください。
4. 必ずD種接地工事(アース工事)を行ってください。
5. 一次側に漏電ブレーカーを取付けてください。

■結線図(太線部分を結線する)

■VD-10ZUC-HT、VD-10ZUC-TK-HT



■VD-10ZLUC-HT



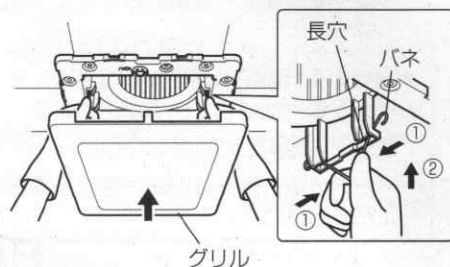
■電圧チェック表

- 結線する前に線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。

感電注意 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

スイッチ	線間電圧 (V)	
	測定部	共通-強 共通-弱
切	0	0
強	100	0
弱	0	100

6 グリルの取付け



- (1) グリルのパネを指先で縮め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに取付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

5. 試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない、風量切替*ができない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) 換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル・ダクト接続口が確実に取付けられていない	取付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む

※: VD-10ZLUC-HTのみ

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号